

見舞ひ

仲 紀久郎

平成廿八年十月十一日

急性期も過ぎたれば三々五々御見舞ひの方々の御來院を戴く。其處に到る迄の記憶は余ほゞ無かりせば其れ以前に御來院戴きし方の記憶無し。

學生時代よりの友人、見舞ひに來たりて曰く、「京都の友人達數人の團體にて見舞ツアー行ふとの企畫有るを聞きて『さは迷惑なれば三四人に絞るべし。』と意見せり。」との事なり。眞に有難き御意見なり。

扱て、週末となりぬ。京、大坂より友人三人關東在住の一人を先達とし併せて四人の友人見舞に來たれり。大坂よりの友人梅田なる阪神百貨店にてタイガースグッズ各種を購入、土産に持ち來たる。皆其々に體に不調ある如し。それなりの年齢になりたれば、或いは癌にて入院經驗有する者、或いは健康診断にてイエローカード受領せし者等の團體となりけり。

其れでも卒業以來四十年を経て皆が集合可能なるは實に嬉しき事なり。

前回集ひしは凡そ一年前なり。一年後には半身不隨に成らんとは想像だに爲す能はざりき。

